

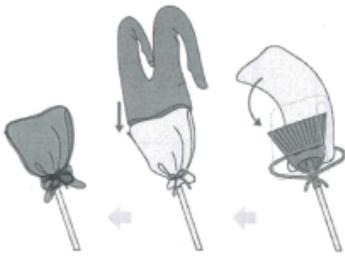
普段のお掃除、どんな道具を使っていますか？

掃除機、フローリングワイパーなど、定番の道具ではお掃除しにくい場所のお掃除には、手作りのお掃除グッズがおすすめです。

手作りのいいところは、それぞれの家の環境に合った、かゆいところに手が届く道具が作れること。そのうえ、身近にあるものを再利用するのでお財布にもやさしく、いいことづくめです。また、自分の作った道具で住まいがきれいになれば、大きな達成感も味わえますね。ぜひ一度身の回りのものを使った手作りお掃除グッズで住まいのお掃除を試してみませんか？



【手作りモップでほこりを一網打尽】



天井や家具と壁の隙間など、掃除機では取りにくい埃ってありますよね。そんな時こそ、手作りグッズの出番です。用意するのは、柄の長いほうきとタオルなどの布、それに古いストッキング。ほうきに布を巻き、その上に古いストッキングをかぶせるだけと、作り方はいたって簡単。ストッキングには、静電気を起こして埃を吸着する力があるので、埃をしっかり取ることができるのです。照明器具の埃落としにも便利です。

【丸めて作るアクリルたわし】



アクリル毛糸を編んで作ったアクリルたわしをご存知ですか？

洗剤を使わなくても汚れが落とせるという優れものです。

アクリル毛糸は非常に細かい繊維で出来ていてそのミクロの繊維が汚れをかきとってくれるので、食器やシンクなどの軽い油污れならば洗剤なしでもきれいにできるのです。

また、洗剤を使わないことで手荒れが少なく済むという利点もあります。通常かぎ針を使って編んで作りますが、もっと手軽に作るなら、丸めてしぼるだけのボンボンたわしがおすすめです。適当な大きさの板にアクリル毛糸をぐるぐると30周ほど巻きつけ、板から外して中心を縛って毛束を広げれば出来上がり。アクリル毛糸は100円ショップにも売っています。汚れたら洗濯すれば何度でも使えます。

【細かい部分にはお掃除棒を】

棒状のものに布などを巻き付けたお掃除道具はサッシのレールや排水口など、手の届きにくい細かい部分の掃除に大活躍します。割り箸や菜ばしなど布を巻き付ける本体を変えれば長さの調節は自由自在。また、巻き付ける布の種類も、古いTシャツやシーツを切ったものなど自由に変えることができます。汚れを落とすパワーの強いマイクロファイバークロスを使えばさらにお掃除効率がアップします。

【窓ガラス拭きは古新聞ぞうきんで】

窓ガラスをきれいに拭くとそれだけでも部屋の中が明るく感じられますね。年に何回かは窓ガラスも拭いて気分もリフレッシュしたいものです。そんな窓掃除で使う身の回りの材料は古新聞です。

新聞で使われているインクには、洗剤とワックスの働きがあるので、窓を磨くのに効果的なのです。

古新聞を適当な大きさにちぎって水に濡らしたら軽くしぼり、くしゃくしゃにして拭きます。

その後は乾いた古新聞を丸めて両手に持ち、円を描きながらキュッキュッ音がするまで磨いていきましょう。新たな汚れも付きにくくなります。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp